

平成 29 年度大学改革支援・学位授与機構 国際連携事業実施報告

平成 30 年 3 月 31 日
国際連携連絡会議

I. はじめに

大学改革支援・学位授与機構（以下「機構」）は、第 3 期中期目標（平成 26～30 年度）を踏まえた以下の国際連携事業に関する主要方針に基づき、近年の高等教育を取り巻く国際的な状況を踏まえながら、海外の高等教育の質保証に関する情報を収集し、調査研究を行い、その成果を国内外に発信している。さらに、海外の質保証機関等との積極的な情報交換や密接な連携による国際的な質保証活動を行っている。

<国際連携事業に関する主要方針>

- ・ 国内外の質保証機関との連携による我が国の評価制度全体の改善と高等教育の国際的な信頼性を高めるための活動を行う
- ・ 大学等との連携による大学等における質保証への支援

機構に設置された国際連携連絡会議（平成 27 年度まで国際連携企画室）は、平成 24 年度よりアクションプランを毎年策定し、研究開発部教員および国際課職員が協働し、国際連携活動を推進している。平成 29 年度においては、以下の 4 つの柱を設定し、柱ごとに活動計画をまとめ、各種活動を実施した。実施にあたっては、毎回の連絡会議において、方針等を協議するとともに、実施状況について確認を行った。また、国際連携連絡会議メンバーや国際課職員が収集した国際的な質保証動向等に関する情報や資料は、国際連携連絡会議メンバー間で共有し、機構内外に発信した。

平成 29 年度国際連携アクションプランの柱

- (1) **海外の高等教育および質保証に関する情報発信（国内発信）**（実施報告 pp.2-8）
- (2) **日本の高等教育および質保証に関する情報発信（海外発信）**（実施報告 pp.9-11）
- (3) **共同プロジェクトを含めた海外の質保証機関やネットワークとの連携事業の実施**
（実施報告 pp.12-14）
- (4) **国際連携にかかる重点的調査研究**（実施報告 pp.15-18）

Ⅱ．各テーマにおける実施内容

（１）海外の高等教育および質保証に関する情報発信（国内発信）

アクションプラン

大学等における質保証活動への支援、および我が国の評価機関等における国際情勢を踏まえた高等教育の質保証活動に資するため、海外の高等教育や質保証に係る制度情報や改革等の動向について情報を収集、整理し、高等教育関係者へ提供する。

事業実施総括

（ア）海外の高等教育質保証動向等に関する情報収集、整理および提供

海外の高等教育や質保証動向について、「別表」に掲げる調査項目を主眼に置きながら情報収集し、ウェブサイトを中心に得られた情報を記事等にして提供した（大学の内部質保証支援および国際的な共同教育プログラムの質保証の観点を意識）。平成 29 年度は 114 件の記事を掲載（p.4）、年 314,655 件の国際連携ウェブサイトおよび関連のウェブサイトへのアクセスがあった。

インフォメーション・パッケージに関して、「諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要：フランス（第 2 版）」、「諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要：オランダ（第 2 版）」、また、「アジア地域の高等教育分野の質保証システムに関するブリーフィング資料」台湾編の改訂版を刊行し、国際連携ウェブサイトに掲載した。

また、海外の高等教育や質保証動向の情報収集のため、国際会議・セミナーや国内会議等へ参加した。

別表 <国・地域別の調査項目> ◎重要度の高い事項 ○キャパシティ次第で取り組む事項

国・地域名	テーマ
中国	◎「高等教育の質の全面的向上に関するガイドライン」の実施状況（機関評価、分野別（プログラム）評価） ◎中外共同運営教育評価の動向 ○CBQAN の活動動向
韓国	◎大学機関別評価認証の動向（評価結果等） ◎大学の国際化評価（留学生受入・管理力量認証制（IEQAS）） ○NIC 設立に向けた活動動向
ASEAN 諸国	◎ASEAN 域内における質保証枠組み(AQAF)・資格枠組み(AQRF)の動向 ○AIMS を通じた大学間交流（AUN、SEAMEO-RIHED 等）の動向 ○質保証人材育成活動（評価者研修プログラム等）の動向 ○ASEAN 共同体に係る各国高等教育の動向
マレーシア	◎MQF レビュー ○学位・資格の相互認証の動向
インドネシア	◎ASEM（特に ASEMME6(2017.5)）の動向（※ASEM 教育事務局＝インドネシア(～2017.10)） ○プログラム評価実施機関設置の動向
タイ	◎国の新たな教育政策を踏まえた第4期評価システムの設計・実施の動向 ○ONESQA の国際連携活動および評価者養成
ベトナム	◎機関別評価の取り組み ◎ベトナム国家資格枠組み(VQF)の動向 ○高等教育の国際化に向けた取り組み
台湾	◎第2期機関別評価活動の動向 ○第2期プログラム評価活動の結果 ○台湾高等教育の国際通用性の向上に向けた質保証の取り組み（国際教育評価含む）
香港	◎学位・資格に関する政策や質保証制度の動向 ○質保証機関統合に向けた動向
欧州	◎欧州高等教育圏(EHEA)の動向 ◎国際共同教育プログラムの共同評価に関する取り組み（「欧州アプローチ」の実践） ◎EQAR や ENQA による国境を越えた質保証活動に関する動き ○ASEM 動向 ○ENIC-NARIC による外国資格評価者の能力開発等動向
英国	◎新たな質保証制度の動向（TEF（教育卓越性枠組）を含む） ○TNE レビューに関する動向
オランダ	(NVAO) ◎第3サイクルにおける評価制度の動向（共同アクレディテーションを含む） ◎国際化評価の動向（優良事例等） (Nuffic) ◎大学の国際化支援や外国資格評価の取り組み
フランス	◎学術機関群の評価を含めた新たな評価の動向
ドイツ	◎高等教育質保証システム（アクレディテーション基準の改訂等）の動向 ◎国際共同教育プログラムの相互認証に係る動向
米国	◎新政権発足に伴う新政策および高等教育法改正に関する動き ◎新たな質保証の取り組み（リスクベース評価のアプローチ、資格枠組等） ◎CIQG の動向 ○評価機関の学習成果評価の取り組み・新たな基準の動向
豪州	◎TEQSA による質保証の取り組み ◎新たな高等教育基準枠組導入を巡る動き

ウェブサイトを通じた質保証動向記事等の発信

【1-ア）海外の高等教育質保証動向等に関する情報収集、整理および提供】

海外の高等教育や質保証の動向に関して収集した情報については、海外動向発信サイト「QA Updates-International」に、**海外の動向記事**として適時掲載し、国内向けの情報発信基盤の強化を図った。平成 29 年度の動向記事掲載件数は 114 件であった。（掲載件数の内訳は下図参照。）



国際的な共同教育プログラムの質保証にかかる情報については、「**共同教育プログラムのための質保証**」ウェブサイトですぐ発信を行っている。

[>> 共同教育プログラムのための質保証サイト](#)

インフォメーション・パッケージの作成・発信 – 各国の質保証制度にかかる基本情報 –

【1-ア）海外の高等教育質保証動向等に関する情報収集、整理および提供】

インフォメーション・パッケージにおける新たな刊行物として、平成 29 年 12 月に「**高等教育分野における質保証システムの概要：フランス（第 2 版）**」を刊行し、国際連携ウェブサイトにて公開した（右：同刊行物の表紙）。

[>> 概要資料掲載ページ](#)



インフォメーション・パッケージにおける新たな刊行物として、平成 30 年 3 月に「**高等教育分野における質保証システムの概要：オランダ（第 2 版）**」を刊行し、国際連携ウェブサイトにて公開した（右：同刊行物の表紙）。

[>> 概要資料掲載ページ](#)



アジア地域における高等教育の質保証に関して、平成 30 年 1 月台湾のブリーフィング資料（右：同刊行物の表紙）を更新し、国際連携ウェブサイトにて公開した。

[>> ブリーフィング資料掲載ページ](#)

さらに、ASEAN 質保証枠組（AQAF）の日本語版（平成 29 年 4 月）を作成・掲載した。 [>> ASEAN 質保証枠組（AQAF）掲載ページ](#)



また、「諸外国の高等教育における質保証システムの概要：韓国」の第 2 版について、刊行に向けた改訂作業を進めた。

「高等教育に関する質保証用語集」の改善に向けて、動向ニュースのメルマガ読者 1,044 名（平成 29 年 8 月 23 日時点）に対してメルマガ・オンラインアンケートを実施した。その結果、122 名から回答が得られ、回答者の 3 割が質保証用語集（第 4 版）を知らない、また冊子や PDF 版と比較してオンライン版や Weblio 版の認知度が低い等の課題が明らかとなった。調査結果は、次年度以降に予定している用語集改訂作業に活用する。

（イ）国際連携ウェブサイトの改善・充実、広報活動

メルマガ読者を対象に、**関心のある高等教育政策や質保証の動向**に関するオンラインアンケート調査等を実施し、発信内容の改善・充実及びアクセス数の向上につなげた。また、**国際連携ウェブサイトの周知活動**を積極的に行い、大学関係者等に周知を図るとともに、**海外高等教育動向ニュース（メルマガ）**の購読者数の増加（平成 28 年度 847 名→平成 29 年度 1,076 名）につなげた。

ウェブサイトや概要資料の情報発信媒体の認知度を高めるため、主な広報活動としてうちわ型チラシを作成し、各種会議等での配布による広報のほか、大学関係者が登録する大規模メーリングリストへの案内掲載や文科省が発行するメルマガでの広報などを行った。**教育学術新聞への海外の質保証動向記事の定期掲載**については、平成 29 年度中に 5 回掲載された。また、海外高等教育質保証動向ニュース（メルマガ）の配信について、平成 29 年度は**毎月配信（計 15 回）**した。

以上の取組み等により、特に、海外の高等教育質保証等の最新動向を紹介しているウェブサイト「QA Updates-International」では、**前年度比 71%増の 43,171 件のアクセス**があった。

国際連携ウェブサイトの改善に向けた取組み

【1-イ）国際連携ウェブサイトの改善・充実、広報活動】

●国際連携ウェブサイトちらし HINT!

国際連携ウェブサイト及び海外高等教育質保証動向ニュースの認知度向上のため、うちわ型チラシを作成し、各種会議での配布等を行った。より多くの大学関係者の興味を引くよう、チラシをうちわ型にし、メルマガ登録ページにリンクした QR コードを目立つ箇所に配置するなどの工夫を行った。また、チラシのデザインに合わせ、国際連携ウェブサイトのトップページバナーを変更したほか、電子版チラシについても、うちわ型チラシとリンクするデザインで作成した。



●SEO コンサルティング

海外の高等教育および質保証に関する最新動向を記事にして紹介しているウェブサイト「QA Updates-International」のさらなるアクセス数向上に向けた SEO コンサルティングを受け、記事制作手順やサイト構造、SNS の活用に関する提案を受けた。今後の取組みとして、まずは、主要な課題となっている SEO 面での記事制作手順の改善を行うことでアクセス数の向上を目指し、合わせてサイトリニューアルに向けた検討を開始する。

<SEO : Search Engine Optimization>

検索エンジンが、検索する人に、どのような検索を掲示しようとしているかを理解し、検索結果でより優遇されるサイトにしていくこと。

(ウ) フォーラムやセミナー開催による情報提供

平成 29 年度は、「教員と職員-学生のための大学をつくる-」をメインテーマに大学質保証フォーラムを開催し、教員と職員の質をいかに向上させ、両者が役割をどのように分担していくべきか、また、学生の視点に立った大学づくりとは何かについて、国内外の事例をもとに議論を深めた。

大学質保証フォーラムおよび海外関係者による講演会・研究会

【1-ウ）フォーラムやセミナー開催による情報提供】

●大学質保証フォーラム

平成 29 年 8 月 7 日（月）に、平成 29 年度大学質保証フォーラム「教員と職員-学生のための大学をつくる-」と題し、一橋講堂（竹橋）にて開催した。プログラムでは、米国、英国、豪州及び日本の大学や質保証関係者の経験からさまざまな実践を学び、教員と職員の質をいかに向上させ、両者が役割をどのように分担していくべきか、また、学生の視点に立った大学づくりとは何かについて議論を深めた。



会場の様子

プログラム前半では、オーストラリア高等教育質・基準機構（TEQSA）CEO の Anthony McClaran 氏及びスタンフォード大学人文・理学部長及び欧州研究所教授の Richard Saller 氏より、それぞれ基調講演が行われた。McClaran 氏は、1980 年代以降の英国政府による財政削減政策に伴い行われた大学の組織改革を通じた自らの経験や英国及び豪州における質保証の取組について紹介し、また、学生を中心に据えた高等教育セクターの改革に向けたアプローチの重要性について示唆した。続く Saller 氏は、米国における大学の種類の違いを念頭に置きつつ、スタンフォード大学における大学運営や教員と職員の役割分担に関して参考となる事例や課題について紹介し、大学の組織内部における相互信頼の重要性を説いた。



パネルディスカッションの様子

プログラム後半では、土屋俊研究開発部教授の進行のもと、基調講演者 2 名のほか、弘前大学理事（研究担当）・副学長の郡千寿子氏、根津育英会武蔵学園理事の小野成志氏及び広島大学高等教育研究開発センター副センター長准教授の大場淳氏がパネリストとして登壇した。第 1 部では、国内パネリストから、自らの経験や知見をもとに大学運営における教職協働の実現に向けた現状と課題に関してそれぞれ発表がなされた。第 2 部では、会場参加者からの質問をふまえながら、パネリスト全員参加により、大学は職員の職能を高めるためにどのような取組みができるか、大学は学生の意見をどのように反映していくべきか等について、活発な議論を行った。

また、翌 8 日（火）には、フォーラムに登壇した 2 名の外国人有識者を招き、大学の運営や質保証における教員の役割等について、海外の実践に対する理解を深めるための公開研究会を開催した。

●国際連携事業報告会

- ・ 第 1 回報告会（機構内向け：香港、台湾スタッフ交流出張報告）
- ・ 第 2 回報告会（機構内向け：NIC に関する勉強会）
- ・ 第 3 回報告会（豪州の高等教育質保証に関するセミナー）

- ・ 第4回報告会（韓国 KCUE-KUAI による講演会）
- ・ 第5回報告会（機構内向け：フランス・オランダ質保証概要の更新に伴う報告会）



台湾スタッフ交流出張報告



豪州の高等教育質保証に関するセミナー



韓国 KCUE-KUAI による講演



フランス・オランダ質保証概要の更新に伴う報告会

● 海外関係者による講演会・研究会

- ・ 米国のコンピテンスベース教育事情に関する講演会
- ・ フィジーの高等教育質保証に関するセミナー
- ・ HEEACT との共同セミナー



フィジーの高等教育質保証に関するセミナー



機構と HEEACT の共同セミナー

（２）日本の高等教育および質保証に関する情報発信（海外発信）

アクションプラン

我が国の高等教育の質保証に係る国際的な信頼性を高めるうえで、機構は内外の質保証機関や評価機関と様々な連携協力をすすめることとしている。これらの活動に伴い、機構の行う事業のみならず、日本全体としての高等教育の質保証システム等の情報について、英文により精査し、海外の質保証関係者に対する情報発信を強化する。

事業実施総括

（ア）日本の高等教育および質保証に関する情報発信の整備・強化

海外で開催された国際会議やスタッフ交流において、**機構の参加者から発表**を行い、日本における高等教育質保証の取組み等について情報発信を行った。また、機構の各事業のニュース記事を英訳し、英文ウェブサイトに掲載した（計 12 件）。さらに、海外機関紙への寄稿は前年度の 1 件から 5 件へと増加した。

日本の高等教育および質保証に関する情報発信の整備・強化

【2-ア）日本の高等教育および質保証に関する情報発信の整備・強化】

●機構事業ニュースの海外発信

機構の事業の国際的な発信力強化を目的として、「機構ニュース」の掲載記事を英訳し、英文ウェブサイトに掲載した。掲載記事は、評価対象機関や評価者向け研修会、学位授与事業の実績、大学質保証フォーラム、海外覚書締結機関とのスタッフ交流、新規刊行物の紹介など、計 12 件にのぼった。

[>> 機構ニュース英文記事](#)

●INQAAHE Bulletin

国際的な質保証機関のネットワークである INQAAHE の定期会報「INQAAHE Bulletin」に記事を掲載し、海外の高等教育質保証関係者に向けて、機構の取組みについて周知に努めた。

（2017年6月号）日中韓の質保証機関で作成した共同ガイドライン「Joint Guidelines for Monitoring International Cooperative Academic Programs in CAMPUS Asia」の刊行に関する紹介記事

（2018年3月号）米国 CIQG との覚書締結に関する紹介記事



[>> INQAAHE Bulletin June 2017](#)

[>> INQAAHE Bulletin March 2018](#)

●CIQG Quality International The Newsletter of the CHEA International Quality Group

米国高等教育ア krediteーション協議会国際質保証グループ(CHEA-CIQG)のニュースレター「CIQG Quality International」の 2017 年 7 月号に、2015 年に実施した「キャンパス・アジア」共同モニタリングに関する記事を投稿した。

[>> CIQG Quality International \(Volume 11 \(July 2017\)\)](#)



●HEEACT「評鑑隔月刊第 68 期」

台湾高等教育評鑑中心基金会（HEEACT）の Web 雑誌「評鑑隔月刊第 68 期（平成 29 年 7 月号）」に、平成 29 年 3 月 13 日（月）から 17 日（金）にかけて実施した機構と HEEACT の第 1 回スタッフ交流プログラムの報告書を投稿した。

[>> HEEACT 評鑑隔月刊第 68 期](#)



●APQNews(2017 年 12 月号)

アジア太平洋質保証ネットワーク（APQN）のニュースレターの 2017 年 12 月号に平成 29 年度大学質保証フォーラムに関する記事を寄稿、また Fiji Higher Education Commission からの研修生の受け入れ（文部科学省受入プログラム）に関する紹介記事が掲載された。

[>> APQNews\(2017 年 12 月号\)](#)



国際会議・セミナーでの機構からの発表実績

【2-ア）日本の高等教育および質保証に関する情報発信の整備・強化】

<平成 29 年度機構からの発表実績と発表タイトル>

日程・場所	会議名称	発表者	発表テーマ
H29.5.25-27 ロシア	APQN2017 総会	岡本理事	<i>Joint Quality Assurance for CAMPUS Asia Pilot Programmes among Three Countries in East Asia</i>
		金准教授	<i>Developing and Verifying a Checklist for Internal Quality Assurance of International Collaborative Programmes in Asia</i>
H29.9.21-22 台湾	HEEACT-APQN グローバルサミット	福田機構長、竹中教授	<i>A Better Future for Higher Education Cooperation with Asian QA Agencies</i>
		竹中教授	<i>Collaborations Between QAAs and Professional Accreditation</i>
H29.9.24 ラオス	第 4 回 ASEAN+3 質保証専門家会合	土屋教授	<i>China-Japan-Korea Joint Quality Assurance for CAMPUS Asia Programs</i>
H29.9.25 ラオス	2017 AQAN セミナー	金准教授	<i>A Case Study of Checklist for Internal Quality Assurance of International Collaborative Programs in Japan</i>
H29.11.22-23 マカオ	マカオ理工学院 (MPI) 主催国際会議	蝶助教	<i>Defining Student Affairs in the Standards of Evaluation by Academic Discipline in Japanese Higher Education</i>
H29.11.23 韓国	第 6 回日中韓大学間交流・連携推進会議	竹中教授	「キャンパス・アジア」に関する日中韓 3 カ国政府の今後の方向性、中韓の質保証の動向
H29.12.9 中国	北京大学・桜美林大学 学術シンポジウム	竹中教授	<i>CAMPUS Asia Monitoring A China-Japan-Korea Joint Initiative to Enhance the Quality of International Cooperative Academic Programs</i>
H30.2.28	NOKUT 主催日本の資	森教授	<i>Japanese Education System and</i>

ノルウェー	格に関するセミナー		<i>Japanese Qualifications', 'Japanese Accreditation and Quality Assurance System', 'Promoting Lifelong learning: Degree Awarding by NIAD-QE</i>
H30.3.22-3.25 インド	APQN2018 年次総会	竹中教授	<i>Competence-Based Learning Outcome: More Effective Quality Assurance More International Harmonization of Higher Education</i>
		土屋教授	<i>The Obvious Answer to the Question, Which Comes "First", Programs or Institutions?</i>



APQN2017 総会
(岡本理事による発表)



HEEACT-APQN グローバルサミット
(福田機構長、竹中教授による発表)

(イ) 機構英文ウェブサイト等の改善・充実

「キャンパス・アジア」2次モニタリングの成果発信及び、モニタリング⁺の開始のため、モニタリング専用ウェブサイトを更新した。

機構英文ウェブサイトの改善・充実

【2-イ）機構英文ウェブサイトの改善・充実】

国際連携ウェブサイトから独立したサイトとなっている「キャンパス・アジア」モニタリングのウェブページを一部改訂し、日中韓の質保証機関で作成した共同ガイドライン『Joint Guidelines for Monitoring International Cooperative Academic Programs in CAMPUS Asia』を掲載したほか、モニタリング⁺に関するページを立ち上げた。

[>>「キャンパス・アジア」モニタリング特設サイト](#)

（３）共同プロジェクトを含めた海外の質保証機関やネットワークとの連携事業の実施

アクションプラン

寛書締結機関を中心に、海外の質保証機関と共同のプロジェクトの実施等を通じて相互理解・信頼関係を深めると同時に、我が国の評価制度の改善や大学間交流プログラムの質保証に貢献する。

また、我が国の高等教育への国際的な信頼性を高めるため、国際的な質保証活動に積極的に参画し、関係機関と協力して活動を行う。

事業実施総括

（ア）日中韓連携

日中韓３カ国の質保証機関が「キャンパス・アジア」のプログラムに対して実施した共同モニタリングの経験を基に、３カ国が協力して、「共同ガイドライン」を作成し、平成 29 年 6 月に機構ウェブサイトで公表した。また、5 月ロシアで開催された APQN 総会を始めとする、5 つの国際会議において 2 次モニタリングの成果発信を行うとともに、INQAAHE 及び CHEA-CIQG のニュースレター等に投稿するなど、広く国際発信に努めた。

さらに、日中韓３カ国の共同の取組が評価され、2018 APQN クオリティ・アワードを受賞した（質保証における国際協力賞）。

平成 29 年 11 月ソウルで開催された第 6 回日中韓大学間交流・連携推進会議で 3 次モニタリングの基準をはじめとする枠組みと、実施時期を平成 30 年とすることが合意されたことを受け、平成 29 年 12 月 3 日に共同モニタリングにかかるワーキンググループ会議を北京において開催し、日中韓の３カ国の質保証機関間で、新たな自己評価書の様式、プロセス、スケジュール等詳細な手法についての具体的な協議を行った。

このほか、第 6 回日中韓大学間交流・連携推進会議に先立って行われた第 7 回質保証機関協議会において、KCUE-KUAI からこれまでの３カ国間で行ってきた「キャンパス・アジア」以外の相互協力の一環として共同研究を行う旨の提案がなされ、協議の結果「NIAD-QE と KCUE-KUAI の大学機関別認証評価制度の比較研究」をテーマに共同研究を実施することとなった。共同研究の具体的な内容について協議するため、平成 30 年 2 月 22 日に KCUE-KUAI 役職員を招へいして共同研究打合せを実施し、その機会に合わせて KCUE-KUAI 役職員による講演会を開催した。

日中韓質保証機関連携と「キャンパス・アジア」モニタリング

【3-ア）日中韓連携 ―プロジェクトの実施―】

日中韓３カ国による質保証機関連携は、「キャンパス・アジア」におけるモニタリング活動を中心とし、中国・韓国の質保証機関と協議・調整を図りながら、通年事業として実施した。

●日中韓連携

平成 29 年 11 月に開催された第 7 回日中韓質保証機関協議会（於：韓国・ソウル）での合意事項に基づき、協議会のプロジェクトグループの活動を行った。

●日中韓 2 次モニタリングの成果発信及び共同ガイドラインの作成

「キャンパス・アジア」モニタリングは、採択プログラムを質保証の側面から支える日中韓３カ国の取組として実施している。平成 25 年に各国の質保証機関がそれぞれ 1 次モニタリングを実施し、平成 27 年は日中韓の質保

証機関が共通の枠組みを構築した上で、2次モニタリング（共同モニタリング）を実施した。本共同モニタリングの経験を基に、モニタリングの原則、実施体制、プロセス、基準、留意事項等を含む共同ガイドラインを作成し、平成29年6月に機構ウェブサイトで公表した。

また、平成29年5月ロシアで開かれたAPQN2017総会、9月ラオスで行われた第4回ASEAN+3 質保証専門家会合などの国際会議で、「キャンパス・アジア」プログラムに関する日中韓共同モニタリングの成果発表を行ったほか、INQAAHE や CHEA-CIQG のニューズレター等に、2次モニタリングの成果や、共同ガイドラインの紹介記事を投稿し、国際的に広く成果発信をおこなった。

[>> 共同ガイドライン\(英語\)](#)

●2018 APQN クオリティ・アワード

平成30年3月に、HEEC 及び KCUE とともに、APQN クオリティ・アワード2018を受賞した。この賞は、APQN が、質保証に対する卓越した貢献やアジア・太平洋地域において参考となる優れた取組を行った機関や個人に対し、その栄誉を称えて授与する賞であり、機構が受賞するのは、平成25年以来2回目である。

今回受賞したのは、3部門の賞のうち、国境を越えた教育や質保証の国際的なイニシアティブにおいて、他機関との国際協力を成功裏に収めた機関に送られる「質保証における国際協力賞（International cooperation in QA）」で、平成23年より5年にかけて日中韓の質保証機関が連携して実施した「キャンパス・アジア」モニタリングの取組が評価され、国際的な専門家の審査を経て受賞することとなった。インドのナグプールで開催された授賞式には、当機構より、当モニタリングの評価委員でもある竹中研究開発部教授が HEEC、KCUE の関係者とともに登壇し、APQN 会長より賞状と記念の盾が授与された。



賞状と記念の盾

（イ）欧米やアジア太平洋との連携

海外の覚書締結機関を中心として、これまで築き上げた関係を基盤に、共同プロジェクトや人的交流、連携した取組みを展開した。また、豪州 TEQSA、台湾 HEEACT と、業務に関する情報・知見の交換を目的としたスタッフ交流（平成29年10～11月）を実施した。

さらに、マレーシア MQA とは評価（質保証）プロセス等についての比較調査プロジェクトに関して、機構と MQA の長は「両機関における質保証の成果の信頼にかかる共同声明」に署名（平成29年7月）、米国 CIQG と「質の原則」にかかる覚書を新規に締結（平成30年1月）した。この他にも、覚書締結機関や海外の交流機関とは、APQN や INQAAHE 等の国際的ネットワークの会議をはじめ、高等教育の質保証に関する国際会議で、情報交換や連携協力にかかる協議を行い、人的ネットワークの拡大とともに、すでにある連携体制の強化を図った。

また、第4回 ASEAN+3 質保証専門家会合開催し、過去の会合の活動や成果をまとめたパクセー宣言を発表した。

●豪州 TEQSA スタッフによる機構訪問プログラム

機構と TEQSA の覚書に基づく協力事業として、TEQSA とのスタッフ交流プログラムを平成 29 年 11 月 13 日（月）から 17 日（金）の 5 日間、当機構にて実施し、2 名の TEQSA 職員を受入れた。

プログラムでは、当機構の教職員による大学評価、学位授与、国際連携、調査研究等の各事業の説明、大学機関別認証評価の訪問調査のオブザーブ参加、文部科学省において大学設置にかかる手続きや外国調査等に関する説明、及び TEQSA による組織概要およびリスクベース評価の枠組みや指標等についての説明が行われた。最終日には平成 29 年度国際連携事業報告会（第 3 回）として、TEQSA 職員による講演会を開催し、TEQSA および豪州高等教育における最近の動向に関する発表が行われた。



TEQSA スタッフによる
機構訪問プログラム

●機構・マレーシア MQA 合同専門委員会：評価（質保証）プロセス等についての比較調査プロジェクト

平成 26 年から開始した相互認証実現可能性のための比較調査プロジェクトに関して、平成 29 年 7 月、機構と MQA の長は「両機関における質保証の成果の信頼にかかる共同声明」に署名した。当プロジェクトの成果には、NIAD-QE と MQA が行う質保証活動のみならず、両国における高等教育システムの相互信頼が確認できた。

●台湾 HEEACT スタッフによる機構訪問プログラム

機構と HEEACT の覚書に基づく協力事業として、HEEACT の職員とのスタッフ交流プログラムを平成 29 年 10 月 2 日（月）から 6 日（金）の 5 日間実施し、6 名の HEEACT の役職員を受け入れた。プログラムでは両機関が互いの質保証の取組みについて説明を行ったほか、大学機関別認証評価の訪問調査のオブザーブ参加を行った。また、この機会に合わせて「NIAD-QE と HEEACT との質保証の理念と実践」をテーマに共同セミナーを開催し、機構からは三巡目の認証評価について、HEEACT からは評価者研修、プログラム評価の任意化に伴う HEEACT の今後の新たな方向性などについて発表が行われた。

●韓国大学教育協議会大学評価院（KCUE-KUAI）の招へいの実施

平成 29 年 11 月に韓国・ソウルで開催された日中韓質保証機関協議会において、KCUE-KUAI より共同研究実施についての提案があり、協議の結果「NIAD-QE と KCUE-KUAI の大学機関別認証評価制度の比較研究」をテーマに共同研究を実施することとなった。共同研究の具体的な内容について協議するため、平成 30 年 2 月 22 日に KCUE-KUAI 役職員を招へいして共同研究打合せを実施し、その機会に合わせて KCUE-KUAI 役職員による講演会を開催した。講演会では、「韓国高等教育の質保証制度について」をテーマに、KCUE-KUAI が実施する機関別評価認証制度とその評価者研修、また、韓国教育部が実施する大学構造改革の取組まで多岐にわたる発表が行われた。

●機構によるタイ ONESQA 現地調査

タイ高等教育の質保証システムに関するブリーフィング資料の作成にあたり、平成 30 年 2 月 9 日に全国教育水準・質評価局(Office for National Education Standards and Quality Assessment : ONESQA)へ訪問し、現地調査を行った。調査においては、双方の機関より自国の外部評価制度について相互に説明しつつ、出席者間で日タイの質保証制度などについて情報交換を行った。

（４）国際連携にかかる重点的調査研究

アクションプラン

平成 29 年度は、大学等における質保証を伴った国際的な共同教育プログラムの展開および国際的な学生移動に伴う外国学修評価を支援していくための重点的調査研究として、平成 25 年度から平成 27 年度までの 3 年間、文部科学省補助事業として実施した 1) 東アジアにおける国際的な共同教育プログラムの質を保証するための手法に関する調査および 2) 国際的な学生移動（モビリティ）に伴い国内外の高等教育機関に必要とされる情報提供事業の在り方に関する調査（通称：モビリティ調査）の成果を踏まえて、機構の事業や大学等の支援につなげるための調査研究活動を行う。そのほか、機構との覚書締結機関との共同研究を行う。

各調査の趣旨および事業実施総括

（ア）国際的な共同教育プログラムの質を保証するための手法に関する調査 （東アジア調査）

●調査の趣旨

「国際共同教育プログラムの質保証のための手引書」の有効性を高めるため、国内外の大学や質保証機関等と協力して改良を行うとともに手引書において開発した「チェックリスト」のツール化を図る。

●平成 29 年度の実施総括

国際的教育プログラム実施における内部質保証のために開発したチェックリストについて、予備的（2 大学）ヒアリングを実施した。また、世界展開力強化事業の実績報告書（2011-2016）における「質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組活動」についてテキスト分析を行った。これらの結果は、ASEAN 質保証ネットワークセミナーと APQN2017 総会で報告した。また、APQN 年次総会の Proceedings paper として採択された。さらに 10 月以降、従前のテキスト分析と予備的なヒアリング調査の結果に基づいて立てた仮説を検証するためのヒアリング調査に着手した。世界展開力強化事業のうち、46 大学（51 プログラム）に対して本ヒアリング実施した。これまでの調査結果を踏まえつつ、「チェックリスト」及び「手引書」の改良を行った。また、海外の質保証機関を対象に、共同教育プログラムに関する関連法規や質保証のメカニズム及び「チェックリスト」のフィージビリティ（現在と将来）について質問紙調査を実施した（APQN、ENQA のメンバー 68 機関のうち 11 機関から回答）。

（イ）外国学修履歴の国際的な認証（Recognition）促進のための教育情報整理に向けた調査

●調査の趣旨

NIC（ナショナル・インフォメーション・センター）の基本的機能に係る調査として、日本の教育制度及び高等教育機関（約 4,000 校）について、モビリティ調査で明らかとなった関係者のニーズを念頭に、文部科学省、高等教育関係機関等と連携しながら情報の整理を行う。また、国際的な学生移動や外国資格評価に関する国内外動向の調査・情報収集を実施する。

●主な成果

国際課職員と研究開発部教員との教職協働で日本の教育制度や高等教育機関一覧の海外発信に向けた調査を行った。

国内外動向調査の一環として、TAICEP、UK NARIC、東洋大学等のセミナーへの参加や、資格評価に係る国内の有識者との意見交換を行い、海外での外国資格評価の実践や資格評価の現状等について理解を深めた。海外動向の発信として、学生の資格・証明書の電子化や国際的な資格相互認証の動きなどを記事にして QA Updates-International に掲載した。

（ウ）台湾 HEEACT との質保証手法に関する比較共同研究

●調査の趣旨

日本と台湾における大学質保証制度改革の動向や課題について、NIAD-QE と台湾 HEEACT 間で比較共同研究を行った。特に、NIAD-QE の第 3 サイクルの認証評価と、HEEACT の self-accreditation 制度やプログラム評価の任意化の動きを整理し、自律性（autonomy）、説明責任（accountability）、改善（improvement）、透明性（transparency）の 4 つの概念をめぐる両国の取組について比較分析を行った。

●主な成果

共同研究にあたり、台湾 HEEACT との研究会を日本で実施した他、複数回の TV 会議やメールにおいて密な議論を進め、研究交流を深めた。成果は共著論文にまとめ、国際学術誌に投稿した。また、本共同研究の経験に基づき、INQAAHE の研究補助金プログラムに共同で応募し、採択された。

（エ）韓国 KCUE-KUAI との共同研究

●調査の趣旨

当機構と韓国大学教育協議会・大学評価院（KCUE-KUAI）との質保証枠組に関する比較を共同で研究し、両機関の取組みの相互理解を図るとともに、その結果を共著論文等で公表する。

●主な成果

平成 30 年 2 月 22 日に、共同研究のテーマ及び今後の進行体制調整のためのキックオフミーティングを実施した。

本文に出現する主な頭文字語の正式名称（アルファベット順）

A I M S（エイムス）

ASEAN International Mobility for Students Programme（ASEAN学生交流プログラム）

A P Q N（エー ピー キュー エヌ）

Asia-Pacific Quality Network
（アジア太平洋質保証ネットワーク）

A Q A F（エーキューエーエフ）

ASEAN Quality Assurance Framework
（ASEAN 質保証枠組）

A Q R F（エーキューアールエル）

ASEAN Qualifications Reference Framework
（ASEAN 資格参照枠組）

A S E A N（アセアン）

Association of South-East Asian Nations
（東南アジア諸国連合）

A S E M（アセム）

Asia-Europe Meeting（アジア欧州会合）

A U N（エーユーエヌ）

ASEAN University Network（ASEAN 大学連合）

B A N - P T（バン ピー ティー）

Badan Akreditasi Nasional Perguruan Tinggi
（国立高等教育ア krediteーション機構）

[英：National Accreditation Agency for Higher Education:NAAHE]

C B Q A N（シー ビー カン）

Cross-border Quality Assurance Network
（国境を越えた教育（クロスボーダー教育）の質保証のためのネットワーク）

C H E A（チェア）

Council for Higher Education Accreditation
（米国高等教育ア krediteーション協議会）

C I Q G（シー アイ キュー ジー）

CHEA International Quality Group
（CHEA 国際質保証グループ）

ENIC-NARIC（エニック-ナリック）

National Academic Recognition Information Centre

FCE/FCR（エーユーエヌ）

Foreign Credential Evaluation/Recognition（外国資格評価・認証）

E Q A R（エカー）

European Quality Assurance Register for Higher Education（欧州高等教育質保証機関登録簿）

G A C（ジー エー シー）

German Accreditation Council（ドイツア krediteーション協議会）

H C E R E S（（アッシュ）セレス）

Haut conseil de l'évaluation de la recherche et de l'enseignement supérieur（研究・高等教育評価高等審議会）

H E E A C T（ヒーアクト）

Higher Education Evaluation and Accreditation Council of Taiwan（台湾高等教育評鑑中心基金会）

H E E C（エイチイーイーシー）

Higher Education Evaluation Center of the Ministry of Education（中国教育部高等教育教學評価センター）

H K C A A V Q（エイチ ケー シー エー エー ブイ キュー）

Hong Kong Council for Accreditation of Academic and Vocational Qualifications（香港學術及職業資歴評審局）

I E Q A S（イー カス）

International Education Quality Assurance system
（外国人留学生受入・管理力量認証制）

I N Q A A H E（インクアヘ / インクアヒ）

International Network for Quality Assurance Agencies in Higher Education（高等教育質保証機関の国際ネットワーク）

K C U E（ケー シー ユー イー）

Korean Council for University Education
（韓国大学教育協議会）

K U A I（クワイ）

Korean University Accreditation Institute
（韓国大学評価院）

M Q A（エム キュー エー）

Malaysian Qualifications Agency
（マレーシア資格機構）

N u f f i c（ヌフィック）

（旧 EP-Nuffic）（オランダ高等教育国際協力機構）

N I C（エヌ アイ シー）

National Information Center（ナショナル・インフォメーション・センター）

N O K U T（ノクト）

Norwegian Agency for Quality Assurance in Education

N V A O（エヌ ブイ エー オー）

Nederlands-Vlaamse Accreditatieorganisatie
（オランダ・フランダースア krediteーション機構）

[英：Accreditation Organisation of the Netherlands and Flanders]

O N E S Q A（オネスカ）

The Office for National Education Standards and Quality Assessment（全国教育水準・質評価局）

Q A A（キュー エー エー）

Quality Assurance Agency for Higher Education
（英国高等教育質保証機構）

Q F（キュー エフ）

Qualifications Framework（資格枠組み）

Q R P（キューアールピー）

Qualifications Recognition Policy

SEAMEO-RIHED（シーメオ-ライヘッド）

Southeast Asian Ministers of Education Organisation - Regional Institute of Higher Education and Development
（東南アジア教育大臣機構・高等教育開発センター）

TEF (テフ)

The Teaching Excellence and Student
Outcomes Framework
(卓越性資格枠組)

TCS (ティーシーエス)

Trilateral Cooperation Secretariat
(日中韓三国協力協議体)

TEQSA (テクサ)

Tertiary Education Quality and Standards Agency
(オーストラリア高等教育質・基準機構)

UMAP (ユー マップ)

University Mobility in Asia and the Pacific (アジア太
平洋大学交流機構)

VQF (ヴィーキューエフ)

Vietnam Qualification Framework
(ベトナム国家資格枠組み)